学校防災だより

大崎市立古川第五小学校
令和４年１２月２３日（金）

今日で第２学期前半が終了します。今週は登校時間の気温が氷点下になることが多く，そんな中でも元気に歩いて登校する児童の姿に頼もしさが感じられました。

さて，１０月以降も本校では防災学習に取り組むことで，災害時の対応に備えています。これまでの取り組みを紹介します。

実施日	項　目	実 施 内 容
１０月中旬	弾道ミサイル発射に係る対応について ◇各学級で発達段階に応じて，分かりやすく指導。	１　弾道ミサイルについての知識 ・発射して短時間で着弾すること。（約１０分後） ・落下の可能性がある場合はＪアラートを活用し，防災無線，緊急メール等で情報が発信されること。 ２　メッセージが流れた後の避難行動 ・できるだけ丈夫な建物の中に避難する。 ・近くに建物がない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。 ・屋内にいる場合は，できれば窓のない部屋へ移動。 ３　ミサイルが着弾した後の行動 ・口と鼻をハンカチで覆い，現場から直ちに離れ，密閉性の高い屋内または，風上に避難する。 ・屋内にいた場合は窓を閉め，ガムテープ等で目張りをして密閉する。 以上の３点について，避難行動を取ることを指導しました。
１０／３１ １１／　１ １１／　２ １１／　４	防火扉通過訓練 ◇クラスごとに割り当てを決めて実施。	・火災発生時に防火シャッターが閉まり，子扉を通過して避難することが想定されるため，通過の仕方を体験しておくことが必要と考え実施しました。
１１／　９ 	避難訓練（２校時）	火災想定 「午前９時３２分，１階給食室から火災発生。北の風やや強く延焼の恐れがあり，速やかに校庭に避難する必要があり。」 ・各学級，決められた避難経路（途中防火扉の子扉を通過）を通り，「お，は，し，も」の約束を守りながら，真剣に訓練に取り組みました。
１０月 ～１２月 	４年生：総合的な学習の時間	１０／３　「防災について考えよう」 保田真理先生（東北大学プロジェクト講師）を招き，On-line で授業をしました。 「マイタイムライン～避難行動の計画～」の作成 ・災害時の避難場所，連絡が取れないときの家族の約束，非常時持ち出し品等を家族と話し合いながら，タイムラインを作成しました。

【お知らせ】

１２月１６日（金）より，「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用が開始されました。下記HPに詳しい情報が掲載されていますので，ご覧ください。

〈仙台管区気象台のホームページ〉
http://www.jma-net.go.jp/sendai/

〈北海道・三陸沖後発地震注意情報のページ〉
http://www.jma-net.go.jp/sendai/kouhatujishin/kouhatujishin.html